

---

# 君への想い

Mico

---

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

君への想い

### 【Nコード】

N4804D

### 【作者名】

Mico

### 【あらすじ】

言葉なしじゃ分かり合えないこともあるから……

君より少し早く目覚めた僕は  
カーテンを少しだけ開けて外を見る

冷たい窓の向こうには  
太陽の光に照らされて銀色に光る雪が  
少しだけ積もっていた

やっぱりね  
そんな気がしてたんだ

君がいつもより近くで寝てるから…

君は

「何も望まないよ、今以上を。だから…離れないでね？」

って言うくせに  
いつも君は“あの”言葉を言わせたがるよね

でも…  
口にしたら嘘になって  
消えてしまいそうで  
僕はいつでも  
ごまかすんだ

それでも君が望むなら、  
じゃいつそ、口癖になるくらいにする？

買い物に夢中の君

「ねえ、こっちの方が似合うかな？」

綺麗な人に瞳を奪われ  
彼女を見つめている僕に

「あんな人が好きなんでしょ！？」って…

怒らせてしまった

「綺麗な人が好きなの？」  
って聞かれたら  
そりゃやっぱ…  
嫌いとは言えないけど

あの人より完璧じゃない所も…  
何でだろ？  
本当に愛しく思えるんだ

同じように  
同じ物を美しく思える  
同じように

感動する

そんなあたりまえのことも  
君は少し忘れてない？

君の我が儘なところも  
君のすぐ怒るところも  
君の笑顔も、泣き顔も

もうずっと…  
本当に

愛し続ける自信があるんだ

この言葉も  
いつそ口癖になるようにしようか？

君は泣き顔で笑った  
その顔はやっぱり愛しくて  
君の望む“あの”言葉を僕は口にするんだ

“愛してる”

終

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4804d/>

---

君への想い

2011年1月16日03時18分発行